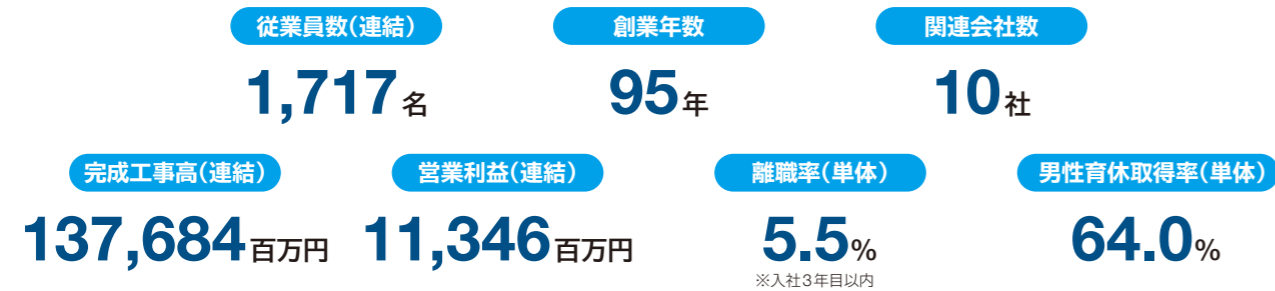


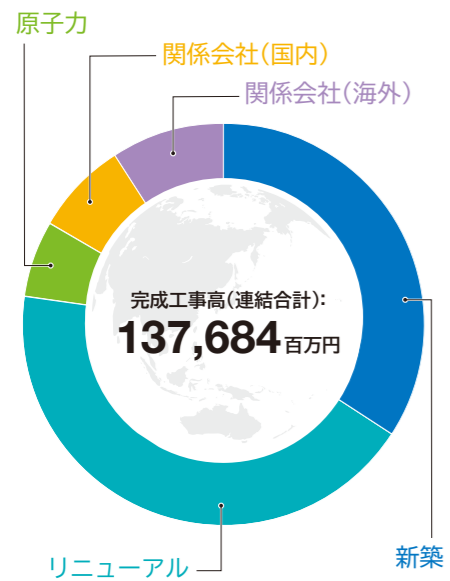
# At a Glance

新日本空調グループは創立以来、国内外で空調設備を手がけてきました。大都市圏の再開発やデータセンター・半導体工場を含む大型産業施設における新築時の空調設備工事およびリニューアル工事、原子力関連施設など、さまざまな分野で数多くの実績があります。

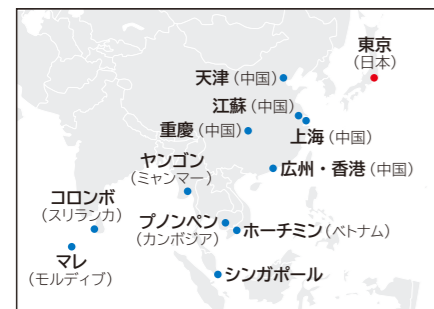
## 数字で見るSNKグループ (2025年3月31日現在)



## 完成工事高構成比率



<b>新築</b> 30.4% (41,913百万円)	現在、耐震性強化や時代のニーズにより建物は新たなものに生まれ変わっています。都市部では再開発が進み、区画が統合されて新たに大型・高層化したビルに生まれ変わると同時に、空調設備もそのニーズにより一新されます。これからの空調分野では、人や物の快適性を高めることと環境への負荷を軽減することが、ますます重要なテーマとなっています。
<b>リニューアル</b> 45.1% (62,119百万円)	建築物は適切なメンテナンスにより、良い状態を維持できますが、それでも物理的・社会的劣化により、15~20年周期で機器や設備の更新が必要となります。リニューアル工事は、お客様が入居したままの居ながら改修工事となることが多いため、工事内容や作業時間に大きな制約を受けますが、安全を最優先に配慮しながら、慎重に進めていきます。
<b>原子力</b> 5.1% (7,015百万円)	日本初となる茨城県東海村原子炉建屋の空調の設計・施工に始まり、その後BWR(沸騰水型原子炉)の各原子力発電所、高速増殖炉、新型転換炉、再処理施設、ならびに廃棄物処理施設を含む、原子力関連施設の設計・施工・保守・改修まで手がけています。現在は、廃止措置・廃炉や新規制対応基準に適合した再稼働に関わる工事を行っています。
<b>関係会社(国内)</b> 8.3% (11,369百万円)	当社グループの国内関係会社は2社あります。新日空サービス株式会社は1991年に設立され、建築設備のメンテナンス・リニューアル・整備業務を行い、ストックビジネスの拡大と設備の長寿命化を図ってきました。日宝工業株式会社は2016年から当社グループに加わり、主に産業施設分野の電気設備および空調衛生設備事業を行っています。
<b>関係会社(海外)</b> 11.1% (15,266百万円)	中国を拠点とする新日空(中国)建設有限公司は2003年に設立し、現在は総合建設業許可を有しています。香港にも拠点を設け、日系企業が中国に工場を建設するサポートをしています。SNK(ASIA PACIFIC) PTE. LTD.は2010年に設立し、新たにベトナムにも拠点を設けており、シンガポール、ミャンマー、カンボジアのお客様のニーズに合わせた事業展開をしています。当社の支店時代を含めると海外現地法人はそれぞれ約40年の歴史があります。



# 暮らしを支えるSNK

新日本空調グループは、空調設備を主とした建築設備の設計・施工管理を手がける総合設備エンジニアリング会社です。「人」や「物」にとって快適・最適な室内環境維持を目的とする空調として、オフィスビル・商業施設・病院・文化施設や、工場・クリーンルーム・データセンターなどを対象として暮らしを支えています。当社グループはこれからも「人」や「物」に寄り添い持続可能な地球環境の実現と社会課題を解決していきます。

